

研修会プログラム

1. 1月12日（土） 会場：坂戸グランドホテル WIN
- 12:30 受付開始（東武東上線坂戸駅南口 12:20 バス出発）
- 12:50 研修会の説明
- 13:00 講義1 「診断参考レベル（DRL）の意味と使い方」
西川慶一先生（東京歯科大学）
- 14:00 休憩
- 14:10 講義2 「線量測定の基本－線量と線質－」
佐藤健児先生（日本歯科大学）
- 15:10 休憩
- 15:20 講義3 「実習で使用する線量測定機器の特徴」
原田康雄先生（明海大学）
- 16:20 休憩
- 16:30 講義4 「光刺激ルミネセンス（OSL）線量計：nanoDot」
小林育夫先生（長瀬ランダウア株式会社・福井大学）
- 17:30 実習の説明
齋藤圭輔先生（日本歯科大学）
- 18:00 終了
- 18:30 懇親会

2. 1月13日(日)

- 6:30～ 朝食 : 1階ラパン (8:30までに各自チェックアウト)
- 8:30 ホテル出発 (バス移動)
- 9:00 明海大学到着
- 9:10 実習1
- 12:00 昼食
- 13:00 実習2
- 15:00 まとめ
- 15:30 解散

実習プログラム

実験1 口内法 X線撮影装置の出力特性：管電圧、空気カーマ、空気カーマ率、HVL、照射時間、管電圧波形、空気カーマ率波形の測定
大林尚人先生 (東京医科歯科大学)

実験2 口内法 X線撮影の患者入射線量 (PED) と面積線量 (DAP) : nanoDot OSL 線量計による PED、放射線着色フィルム (GafChromic film XR-QA2) によるビーム面積 (beam area 線束面積) と DAP の測定
後藤賢一先生 (愛知学院大)、小林育夫先生 (長瀬ランダウア・福井大学)

実験3 歯科用コーンビーム CT 装置の出力特性：FPD 面上での空気カーマと DAP の測定 (空気カーマ、照射時間、管電圧と HVL などのビーム線質とビーム面積も測定)
野津雅和先生 (朝日レントゲン工業)、小澤智宣先生 (明海大学)

実験4 パノラマ X線撮影装置の出力特性：管電圧、空気カーマ、空気カーマ率、HVL、照射時間、管電圧波形、空気カーマ率波形の測定
三島 章先生 (鶴見大学)

実験5 パノラマ X線撮影装置の線量測定：線量幅積 (DWP)、照射野サイズ/ビーム面積 A/ビーム高さ H、DAP の測定
小田昌史先生 (九州歯科大学)、杉原義人先生 (モリタ製作所)